

1.1 補修数量総括表

橋梁名：田幸64号線2号橋

[illegible]

1.2.4 充てん工法（ひびわれ充填工下部工）

（１） 延べ施工量

１） ポリマーセメント系

$$L = 8.63 = 8.63 \text{ m}$$

（２） 充填材

１） ポリマーセメント系

$$w = 10 \text{ mm}$$

$$t = 10 \text{ mm}$$

$$\gamma = 1.975 \quad (\text{仮定})$$

$$V = 8.63 \times 0.010 \times 0.010 \times 1975 \times 1.20 = 2.050 \text{ kg}$$

ロス率20%

（３） 殻運搬（※ 運搬処理工にて計上）

１） コンクリート構造物

$$V = 8.630 \times 0.010 \times 0.010 = 0.001 \text{ m}^3$$

（４） 殻処分（がれき類）（※ 運搬処理工にて計上）

$$V = 0.001 = 0.001 \text{ m}^3$$

$$W = 0.001 \times 2.35 \text{ t/m}^3 = 0.002 \text{ t}$$

1.2.8 ひびわれ補修工 数量表

(4) 充てん工法(ひびわれ注入工：下部工及び橋面(舗装))

番号	部 位	ひびわれ				遊離石灰を伴う		深さ t (mm)	備 考
		w (mm)		L (m)		L (m)			
J	橋台								A1・A2橋台
1		10.00		4.37					
2		5.00		0.60					
3		4.00		0.17					
4		2.00		0.15					
5		3.00		1.99					
6		2.00		0.73					
7		2.00		0.62					
	小計			8.63					充填：ポリマーセメント系
0.2≦w<0.5mm 合計延長		幅加重平均		-		-		深さ 加重 平均	
0.5≦w<1.0mm 合計延長		(注入工のみ)		-		-			
1.0≦w≦5.0mm 合計延長		-		4.26		-			
5.0mm<w 合計延長		-		4.37		-		-	
遊離石灰を伴う 合計延長		-		-		-			
		w<0.2mm	0.2≦w<0.5mm	0.5≦w<1.0mm	1.0≦w≦5.0mm	5.0mm<w	遊離石灰を伴う	合 計	
注入：エポキシ1種合計		-	-	-	-	-	-	-	
注入：エポキシ2種合計		-	-	-	-	-	-	-	
注入：エポキシ3種合計		-	-	-	-	-	-	-	
充填：ポリマーセメント系合計		-	-	-	4.26	4.37	-	8.63	
充填：可とう性エポキシ樹脂系合計		-	-	-	-	-	-	-	
充填：シーラント系合計		-	-	-	-	-	-	-	
合 計		-	-	-	4.26	4.37	-	8.63	

1.3 断面修復工（左官工法）

はつり深さ計算方法：平均かぶり厚 + 鉄筋径 + 余裕長10mm + α (5mm丸め)

・上部工かぶり厚： (各かぶり厚) 19

・上部工鉄筋径： (各鉄筋径) 12

・上部工はつり深： $19 + 12 + 10$
 $= 41 \div 45 \text{ mm}$

・下部工かぶり厚： (各かぶり厚) 0

・下部工鉄筋径： (各鉄筋径) 0

・下部工はつり深： $0 + 0 + 30$
 $= 30 \div 30 \text{ mm}$

※橋台は無筋構造物であることから、はつり深さを30mmと仮定した。

1.3.1 左官工法

(1) 延べ施工量

1) ポリマーセメントモルタル 鉄筋ケレン・防錆処理を含む

$$v1 = 0.173 = 0.173 \text{ m}^3$$

$$v2 = 0.173 \times \frac{0.18}{\text{ロス率18\%}} = \frac{0.031 \text{ m}^3}{\Sigma V = 0.204 \text{ m}^3}$$

2) ポリマーセメントモルタル 鉄筋ケレン・防錆処理を含まない

$$v1 = 0.029 = 0.029 \text{ m}^3$$

$$v2 = 0.029 \times \frac{0.18}{\text{ロス率18\%}} = \frac{0.005 \text{ m}^3}{\Sigma V = 0.034 \text{ m}^3}$$

1.3.2 殻運搬（※ 運搬処理工にて計上）

(1) コンクリート構造物

$$V = 0.202 = 0.202 \text{ m}^3$$

※ 殻数量は、断面修復数量と同量と仮定した。

1.3.3 殻処分 (がれき類) (※ 運搬処理工にて計上)

$$V = 0.202 = 0.202 \text{ m}^3$$

$$W = 0.202 \times 2.35 \text{ t/m}^3 = 0.475 \text{ t}$$

1.3.4 左官工法 数量表

[illegible]

1.4 運搬処理工

1.4.1 殻運搬

※ 運搬は、「運搬距離40km DID区間:無し」程度を想定。

(1) コンクリート構造物

1) ひびわれ充填工

$$V = 0.001 \quad = 0.001 \text{ m}^3$$

2) 断面修復工（左官工法）

$$V = 0.202 \quad = 0.202 \text{ m}^3$$

1.4.2 殻処分（がれき類）

$$1) V = 0.001 + 0.202 \quad = 0.203 \text{ m}^3$$

$$W = 0.203 \times 2.35 \text{ t/m}^3 \quad = 0.477 \text{ t}$$

1.5 仮設足場工

1.5.1 吊足場

(1) 吊足場 (TYPE A1 吊足場 桁高 $h < 1.5$)

$$A = 3.700 \times 4.340 = 16.058 \text{ m}^2$$